

FP 3 級過去問題

問題1<ライフプランニングと資金計画／三択問題>

障害基礎年金の支給要件のひとつである保険料納付要件とは、原則として初診日の前日において、初診日の属する月の前々月までの国民年金の被保険者期間のうち、保険料納付済期間と保険料免除期間とを合算した期間が()以上あることである。

- 1) 3分の1
- 2) 2分の1
- 3) 3分の2

(3級学科／2011年度9月)

問題2<ライフプランニングと資金計画／正誤問題>

個人のライフプランニングにおけるバランスシート(貸借対照表)は、顧客やその家族の結婚・進学・住宅取得等のライフイベントに関するプランを時系列でひとつの表にまとめたものである。

(3級学科／2011年度9月)

問題3<リスク管理／三択問題>

生命保険契約において、保険料の払い込みがないまま払込猶予期間を経過した場合に、その契約の(①)の一定範囲内で保険会社が自動的に保険料を立て替えて契約を有効に継続させる制度を(②)という。

- 1) ①責任準備金②復活
- 2) ①責任準備金②自動振替貸付
- 3) ①解約返戻金②自動振替貸付

(3級学科／2011年度9月)

問題4<金融資産運用／三択問題>

居住者である個人が得た外貨建MMFの為替差益(売買益)は、()として取り扱われる。

- 1) 非課税
- 2) 配当所得
- 3) 利子所得

(3級学科／2011年度9月)

問題5<タックスプランニング／正誤問題>

上場株式の譲渡による損失の金額は、確定申告を要件として、不動産所得などの他の所得金額と損益通算することができる。

(3級学科／2011年度9月)

問題6<金融資産運用／三択問題>

「個人向け国債・(①)3年」の利率(年率)は、基準金利から(②)を差し引いて算出される。ただし、利率がマイナス、あるいはゼロとなることがないように、所定の最低利率が保証されている。

- 1) ①変動②0.80%
- 2) ①変動②0.05%
- 3) ①固定②0.03%

(3級学科／2011年度5月)

問題7<タックスプランニング／正誤問題>

所得税において、不動産所得の金額の計算上生じた損失のうち、土地を取得するために要した負債の利子の額に相当する金額については、損益通算の対象とならない。

(3級学科／2011年度9月)

問題8<相続・事業承継／三択問題>

相続によって相続人が取得した宅地等のうち、「小規模宅地等についての相続税の課税価格の計算の特例」における特定居住用宅地等に該当する宅地等の相続税評価額については、(①)までの部分につき(②)の評価減を受けることができる。

- 1) ①400㎡②50%
- 2) ①400㎡②80%
- 3) ①240㎡②80%

(3級学科／2011年度9月)